学校番号	3034

令和５年度　理数科

教科	理数	科目	理数数学ⅡＬ	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	「改訂版　数学Ⅱ」「改訂版　数学Ｂ」（数研出版）						
副教材等	問題集「四訂版メジアン数学演習ⅠⅡＡＢ受験編」（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

その後「数学ⅠⅡＡＢ」の入試問題集を取扱います。すでにいくつかの単元に取り組んできました。改めて振り返ると，入試問題ばかりですので難度が高いと感じたことでしょう。ただ大事にしてほしいことは，それまでやってきた基礎部分（公式や計算手順などを指します。）を決して疎かにしないことです。問題ごとに，「どのような基礎事項を理解し，使えるようにすべきか」を意識して取り組んでください。

　さらに，「よく使う事項」「あまり使わない事項」というふうに皆さんの中で分類していってください。数学は経験に裏打ちされた見方・考え方がものを言います。皆さんの中で見方・考え方を確立していってもらうと，それがそのまま入試へと繋がります。この授業を通じ，数学の奥深さを楽しんでもらえることを期待しています。

２　学習の到達目標

数学ⅠⅡＡＢの既習事項の演習を通して，より一層理解を深め，知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに，それらを積極的に活用する態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	数学的活動を通して，数学ⅠⅡＡＢの既習事項に関心をもつとともに，数学的な見方や考え方のよさを認識し，それらを事象の考察に活用しようとしている。	数学的活動を通して，数学ⅠⅡＡＢの既習事項における数学的な見方や考え方を身につけ，事象を数学的に捉え，論理的に考察し，表現するとともに，過程を振り返り多面的・発展的に考える。	数学的活動を通して，数学ⅠⅡＡＢの既習事項において，事象を数学的に考察し，処理する仕方や推論の方法を身につけ，的確に問題を解決する。	数学的活動を通して，数学ⅠⅡＡＢの既習事項における基本的な概念，原理・法則，用語･記号などを理解し，基礎的な知識を身につけている。
評価方法	確認テスト 定期テスト ワークシート レポート 観察等	確認テスト 定期テスト ワークシート レポート 観察等	確認テスト 定期テスト 観察等	確認テスト 定期テスト ワークシート レポート 観察等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	内容	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
				a	b	c	d		
	演習	総合演習	数と式		○	○	○	a: 数と式などの既習事項に関心をもつとともに，それらの有用性を認識し，事象の考察に活	確認テスト 定期テスト

			集合と論証	○	○		○	用しようとしている。 b: 事象を数と式などの既習事項を用いて考察し表現したり，その過程を振り返ったりすることなどを通して，数学的な見方や考え方を身につけている。 c: 事象を数と式などの既習事項を用いて表現・処理する技能を身につけている。 d: 数と式などの既習事項に関する基本的な概念を理解し，知識を身につけている。	ワークシート レポート 観察等
			２次関数	○		○	○		
			図形と計量	○	○		○		
			データの分析	○	○		○		
			場合の数と確率	○	○		○		
			整数の性質	○	○		○		
			図形の性質	○	○		○		
			方程式・式と証明		○	○	○		
			図形と方程式	○	○		○		
			三角関数		○	○	○		
			指数関数・対数関数	○		○	○		
			微分と積分	○		○	○		
			数列	○	○		○		
			ベクトル	○	○		○		
後期		実践演習	実践演習	○	○	○	○	a: 数と式などの既習事項に関心をもつとともに，それらの有用性を認識し，実践的な場面で事象の考察に活用しようとしている。 b: 実践的な場面で事象を数と式などの既習事項を用いて考察し表現したり，その過程を振り返ったりすることなどを通して，数学的な見方や考え方を身につけている。 c: 実践的な場面で事象を数と式などの既習事項を用いて表現・処理する技能を身につけている。 d: 数と式などの既習事項に関する基本的な概念を理解し，知識を身につけている。	確認テスト 定期テスト ワークシート レポート 観察等

※　表中の観点について　　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。